



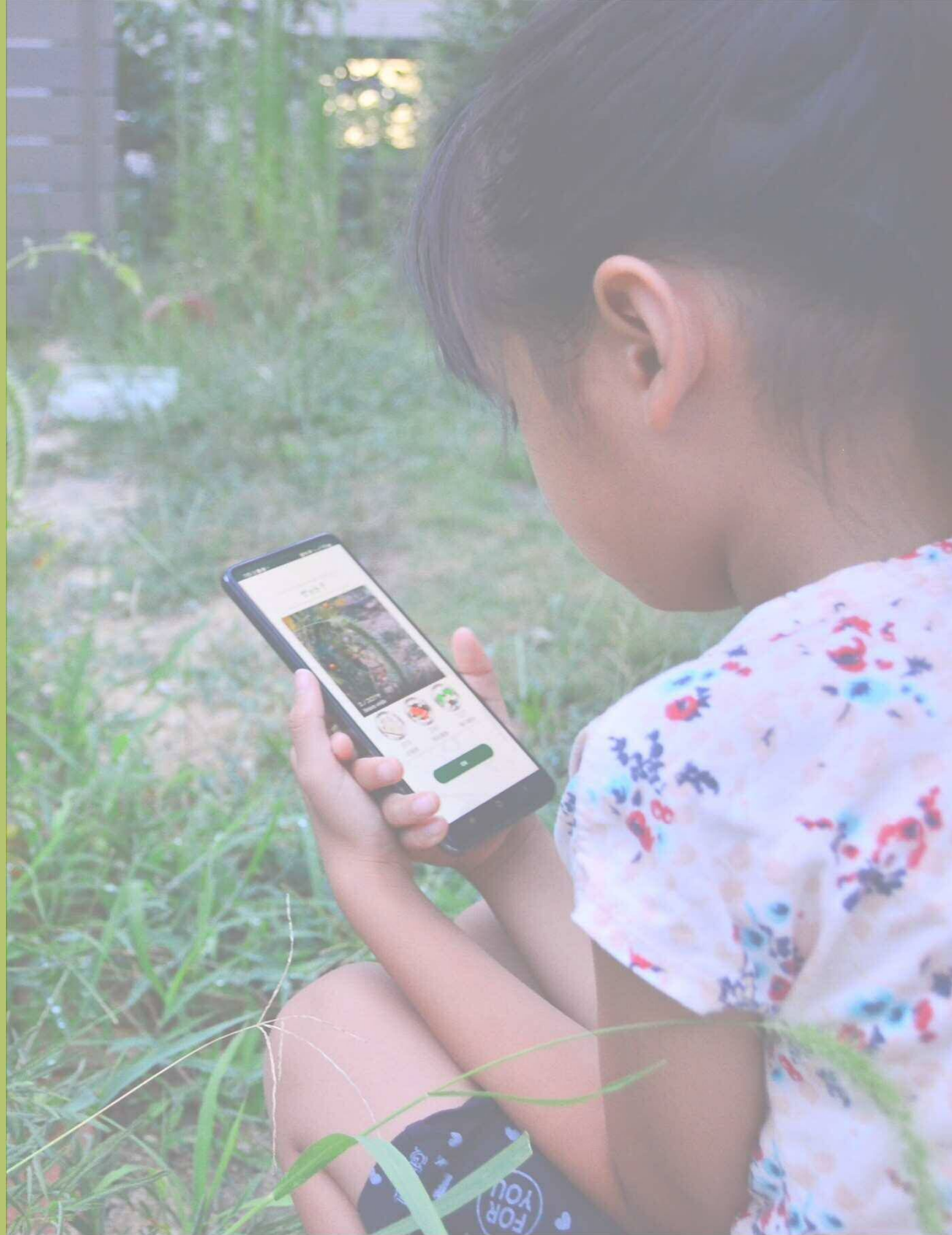
なごや いきものクエスト Report 2023



イセノナミマイマイ
@たぬきビール



 名古屋市
BIOME



ニホンアマガエル @プーニー7



名古屋ではじめて開催した**なごやいきものクエスト2023**
たくさんの方に楽しんでいただきありがとうございました。

みなさんのおかげで集まった結果を大公開！
なごやの身近な自然を楽しんでいただけると嬉しいです。

レポートではみなさんの投稿写真をピックアップして
使わせていただいています(人”▽”)ありがとう☆

Thank you



カワセミ @ゴールデンコメット

クマゼミ @かぷてぐらみ



なんの生きものかな？
写真を撮ると
AIが名前を判定！



オカダンゴムシ @aurelian

実施期間
2023年7月13日～8月31日
(50日間)

ニホントカゲ @のすり

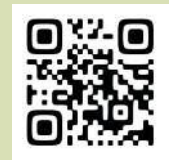


参加者数
1,245人

投稿数
12,551件

見つけた数
1,335種類
※飼育栽培を除く

ツール：スマートフォンアプリ
「Biome (バイオーム)」
詳細はこちら➔



カブトムシ @KEITEN



アメリカザリガニ @kyrou



たくさん見つけた場所



おもな緑地エリア
● 生きものが見つかった場所

名古屋の身近な自然にも生きものがたくさん！

生きものランキング

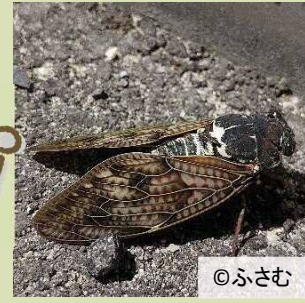
順位	種名	投稿数
1	クマゼミ	357
2	アブラゼミ	322
3	シオカラトンボ	162
4	ショウリョウバッタ	149
5	キマダラカメムシ	146
6	ツマグロヒョウモン	114
7	サルスベリ	106
8	ドバト	101
9	エノコログサ	94
10	ヤマトシジミ	92



©katak614

クマゼミ

ももとは名古屋より暖かい地域に住むセミですが、温暖化の影響もあり名古屋でもよく見られるようになりました。



©ふさむ

アブラゼミ

2016年に市内で実施したセミの抜け殻一斉調査では14,500個体と当時は一番多く見つけたセミですが今回は2番手でした。



©detaka@釣り師

シオカラトンボ

オスとメスは成熟すると色が違います。オスは水色、メスは黄色です。この写真は、水色なのでオスですね。



なごやで見つけた生きもの

名古屋は都市ですが、東には森、湿地、ため池など、西には干潟、水田、河川などの多様な環境があるほか、市街地にも社寺林や公園などの自然が残されており、様々な生きものたちが都市の環境に適応しながら、たくましく生きています。



◎ハシビロコウチ

ヤマトシジミ

はねの表が水色で1センチぐらいいのかわいいチョウです。幼虫はコンクリートのすき間に生える強い草のカタバミを食べるため、都会でも生きていけます。



◎けもたま

エノコログサ

猫じゃらしという方がなじみがあるかもしれません。実は食用にもなります。鳥や動物に食べられても、種が消化されないので、全国に広がっています。日本以外にも広く生きるたくましい植物です。



◎生き物大好きおばさん

ツマグロヒョウモン

もともと名古屋より暖かい地域に住むチョウですが、温暖化の影響に加え、幼虫が食べる草になるパンジーが家庭や公園などで長期間植えられるようになったことから名古屋でもよく見られるようになりました。



◎ケケロー

アオスジアゲハ

名古屋市の「市の木」であるクスノキの葉が幼虫のエサになります。名古屋では社寺林や街路樹にクスノキが多く、アオスジアゲハも多く見られます。動きがすばやいで写真撮影は結構難しいです。

レアな生きもの

絶滅危惧レベル I A類 > I B類 > II類 > 準絶滅危惧
(名古屋市レッドリスト2020) (絶滅の可能性が極めて高い) (絶滅の危険が増大) (絶滅の危険が増大) (生息条件の変化で絶滅危惧)



絶滅危惧種I B類

◎iroako

ニホンウナギ (4投稿)

鳥(アオサギ)の紹介ではなくて、食べられている方です。市内では天白川、庄内川、藤前干潟などに見られます。日本人のウナギ好きが乱獲につながり絶滅危惧種になってしまいました。



準絶滅危惧種

◎ゆうとろぷろき

ジャコウアゲハ (9投稿)

幼虫はウマノスズクサ科の植物だけを食べます。名古屋城周辺では堀の石積みにウマノスズクサが多く、絶滅が危惧されるジャコウアゲハの楽園となっています。



準絶滅危惧種

◎harusaku

タヌキ (4投稿)

名古屋の都市化によって、数を減らしましたが、現在では都市環境に適応し、市内全域で見られるようになってきました。都心部で見られることもあります。



絶滅危惧種II類

◎mkyk

ドジョウ (8投稿)

市内に広く生息していましたが、都市化や水路のコンクリート化、乾田化、農業などにより激減しています。名古屋市内では水田がどんどんなくなっています。

外来生物

ペットや食用などの目的で人間によって持ち込まれたり、船などに付着して運ばれてきたものです。そのなかでも特に生態系などへの影響が大きい「特定外来生物」は法律で飼ったり、野外に放つこと等が禁止されています。下に紹介する生きものはその一例です。



◎こうしろう博士

ヌートリア (5投稿)

南米原産の大型ネズミです。毛皮にするために日本に持ち込まれました。希少種を食べてしまったり、農業被害もあります。



◎こいけんと

ブルーギル (9投稿)

ため池等で確認されています。法律で放流等が禁止されていますが、フィッシング目的で放たれ拡がりました。



◎まいずみ

クビアカツヤカミキリ (6投稿)

市内では2019年にはじめて発見されました。桜を枯らすなど被害が発生します。



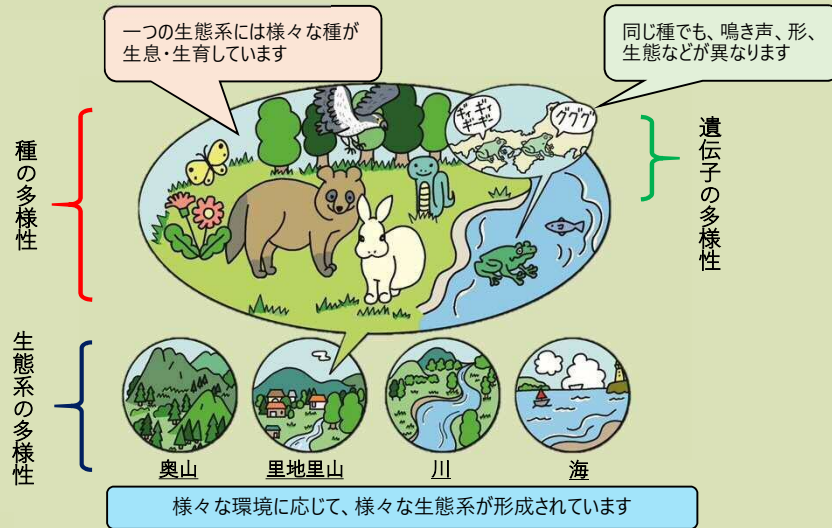
◎マドリガル

カダヤシ (11投稿)

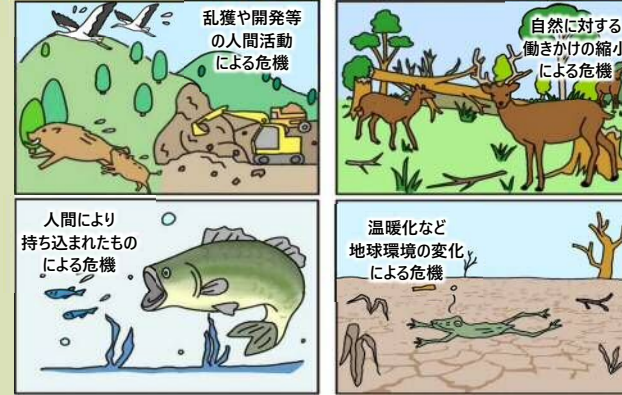
北米原産で、一見メダカです。蚊の幼虫のボウフラ駆除のため持ち込まれました。法律で飼育等が禁止されています。

生物多様性って私たちに関係あるの？

3つの生物多様性



生物多様性の4つの危機



人間活動が原因で、急速なスピードで生きものの絶滅が進んでいます。左のイラストのような4つの危機が、私たちが生きていくために欠かせない生物多様性を脅かしています。

生物多様性を守るために私たちができること

生物多様性のために私たちができることはたくさんありますが、「生物多様性を回復させる」、「日々の行動で世の中の流れを変える」という視点で整理しました。まずは、ここで紹介することを意識して取り組んでみましょう。

目指すこと	できること
生物多様性を回復させる	保全活動に関わる ・身近な自然の調査・保全活動に参加する ・各種の講座・イベント等に参加する
	緑化に取り組む ・庭やベランダなどで植物を育てる ・生物多様性に配慮した緑化に取り組む
日々の行動で世の中の流れを変える	買い物にこだわる ・地元のをできるだけ選んで買う ・環境や社会に配慮したものを選んで買う ・マイバックを持参する



生物多様性とは、生きものたちの豊かな個性とつながりのことなんだ。

なんかピンとこないんだよねあ〜

なごやいきものクエストで、いろいろな生きものの「個性」は感じられた？

それはばっちり感じたよ！

市のクスノキにはアオスジアゲハが卵を産みにくるんだ。幼虫がクスノキの葉をエサにするからね。

そうなの？そういえば、クスノキのまわりで見たよ！

それが「つながり」だよ。他にも、野菜や果物などの作物ができるのはミツバチなどの花粉を運ぶ動物のおかげなんだ。

生きものつながりで、ぼくたちも生きているんだね！

問い合わせ 名古屋市環境局環境企画課 TEL 052-972-2698
E-mail a2662-01@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

名古屋市
生物多様性
の取組➡

